

当協会ホームページの会員用ページに当協会活動を定期的に報告します。

HP 事務局だより 平成 24 年 1 月～3 月

平成 24 年 4 月 3 日 常務理事 事務局長 甲賀 大樹

1. 法人業務

*平成 23 年度第 2 回理事会および総会

当協会 H24 事業計画および予算案の策定・承認が目的で、理事、事務局などからの提案を理事会（2/18（土））で審議して総会議案を策定し、総会（3/10（土））で承認を受ける一連の業務です。

ご承認いただいた事業計画および予算、ならびに出席者代表 2 名及び議長の署名入り議事録は新年度前に監督官庁（文部科学省）に提出し、平成 24 年度に実施します。

総会資料作成及び会員への郵送・返事集計は費用・作業量とも大仕事です。

*公益法人を内閣府に電子申請（3/28） 公益社団法人として認定されれば、現法人解散、新法人設立になります。

コンサルタントの手を借りず、独力で申請したのは稀有の例と自負しておりますが、これから質疑応答、追加説明、修正など、様々な対応が必要となります。

2. 滑空スポーツ統括普及事業

*文部科学省関係：昨年受けた実地検査に関するフォローアップ（1/16）

*国土交通省関係：東京航空局 H24 年度に東京航空局管内滑空場で技能証明実地試験を依頼する予定数をまとめて回答。（1/18）

*航空交通管制部 関東ブロック合同管制交流会出席（3/16）（社）長野県航空協会万場泰雄、フジドリーム・エアラインズ（株）小濱明彦両氏とともに出席。航空交通管制関係者、航空会社関係者など 100 名程度出席、3 時間半の会議と航空管制室見学。

万場氏と私でグライダーの諸元、性能、飛行記録、装備、飛行などを 15 分ほど紹介。グライダーが管制官からの指示でも従えないこと、困ることなどを説明。大反響。

*滑空団体へ連絡

航空法一部改正に伴う制度説明会案内（1/25）、大学入学試験時の飛行自粛要請など

*（財）日本航空協会主催 航空スポーツ連絡会（3/12）

気球、エクスペリメンタル、ジェネラル・アビエーション、ハング・パラグライディング、ウルトラライト、模型飛行機、フット・ローンチ、各統括団体と航空局小型航空機安全審査官、航空協会との連絡会、毎年 1 回開催。内容は各団体報告など。24 年度スカイレジャージャパン開催中止決定。

*FAI IGC 総会出席（3/2-3 於南アフリカ Potchefstroom） 甲賀出席

24 カ国 Delegate による総会世界滑空スポーツの総会。将来の世界選手権実施大綱など国際滑空競技および国際滑空記章、記録樹立関連規則の承認、功労者に対する表彰候補者選出など。内容については会員ページ内、2012 IGC 総会報告参照。

*JSA Info #296 刊行（3/1）

*ホームページ運営 毎週表紙および内容を改訂

*平成 24 年度航空安全講習会受講票 送付

H23-2 総会案内、JSA Info #296、上記航空安全講習会受講票を同封で郵送。

3. 滑空スポーツ愛好者育成事業

*滑空スポーツ講習会 2011 :(独)日本スポーツ振興センターのくじ助成金事業として実施
高校生からハング愛好者を含め合計約 170 名参加

	日時	>開催場所	テーマ	講師
第 1 回	2011/12/3(土) 13:30-17:00	東京・港区 航空会館	ウェーブフライト 計画、気象、実績	万場泰雄 笠原久司 他 4 名
第 2 回	2012/1/14(土) 13:00-17:00	山口・山口市 山口グランドホテル	気象(エマグラムと高層気象) ソラヨミ for Cross Country Flight	本田真一
第 3 回	2012/1/21(土) 13:00-17:00	東京・港区 航空会館	ソアリング技能のブラッシュアップ グライダーを生涯のスポーツに	丸山 毅 嶋田和人
第 4 回	2012/1/29(日) 13:00-17:00	千葉・野田市 NPO 関宿滑空場	異常姿勢からの回復法 グライダーを生涯のスポーツに	植田展生 嶋田和人
第 5 回	2012/2/4(土) 13:00-17:00	宮城・仙台市 TKP ガーデンシティ仙台	山岳波を利用した長距離飛行 ソラヨミ for Cross Country Flight	市川博一 本田真一
第 6 回	2012/2/11(土) 12:30-16:00	北海道・札幌市 かでの 2・7	ソラヨミ for Cross Country Flight 山岳波を利用した長距離飛行	本田真一 市川博一

*公式立会人・滑空記章試験員講習会(第 2 回以降の滑空スポーツ講習会と同期して開催)

任期更新を受けた公式立会人および日本滑空記章試験員の講習会、FAI スポーティングコード概要、国内で増える傾向にある 50km 立会いなどの役割実行時の注意の説明など。約 70 名の任命者のうち、約 50 名が受講済。

*くじ助成金事業実績報告書提出(3/2)

4. 滑空スポーツ競技会事業

*第 51 回全国七大学総合体育大会航空の部 2/22 開会式、2/28 閉会式於関宿滑空場

一周 19km 程度の周回速度競技、教官同乗での参加可能。

坂井正一郎常務理事が競技審判委員長として参加。滑空奨励賞授与。

団体優勝：名古屋大学、最優秀選手：中西翔平(京都大学)

*第 52 回全日本学生グライダー競技選手権大会 3/3 開会式、3/11 閉会式於妻沼滑空場

銅章以上保有選手による一周最大 40km 程度の周回速度競技

牧野健会長(開会式出席)、日本滑空協会賞授与の予定が競技会期間中の悪天候により競技不成立

(過去 1 回だけ台風のため不成立)

* 第 41 回早慶対抗グライダー競技会 3/13 開会式、2/19 閉会式於妻沼滑空場
銅章以上保有選手による一周最大 40km 程度の周回速度競技 今年から GPS 使用
開会式、閉会式に甲賀出席。日本滑空協会賞授与
団体優勝：早稲田大学、最優秀選手：和田悠佑（早稲田大学）

以上